

○大場委員 初めに、技術職員の能力向上と人材の確保、また技術情報の提供と支援について、二点について伺います。

東日本大震災からの復興に向けて、現在、多くの自治体が職員の派遣などを行っているところですが、報道などによれば、復興を支援する側の都道府県などにおいても、技術系職員を中心に人手不足が顕在化してきております。

私の地元である世田谷区においては、今年度四名の技術系職員を被災地に派遣しておりますが、東京都でも、被災直後から多くの技術系職員を被災地に派遣しております。

一方、限られた人材で、切迫する首都直下型地震などに備え、防災対策を進めるとともに、多様な都民ニーズにもこたえていかねばならず、技術系職員のさらなる能力向上を図ることが必要であると考えています。

また、神奈川県庁においては、五年連続で内定辞退者が三割を超えたという報道もあり、必要な人材を確保することも重要であると感じたところでございます。

東京都では、東京都技監を座長とする東京都技術会議を中心に、高度防災都市の実現に向けた対応や技術系職員の能力向上、人材確保などについて検討していると伺っております。

そこで、**東京都技術会議における取り組みについて**伺います。

-----

○中島企画担当部長 東京都技術会議でございますけれども、平成四年に設置された、技術系の局長級職員により構成される全庁的な会議でございます。都政の重要かつ緊急な課題に対し、技術的側面から意見交換をするとともに、技術水準の維持向上のあり方等について調査検討を行うものでございます。

最近の活動といたしまして、平成二十三年度から、高度防災都市づくりなど三つのテーマにつきまして検討しておりまして、その過程において、木密地域不燃化十年プロジェクトや都立公園への非常用発電設備の設置などの必要な対策が、「二〇二〇年の東京」計画やそのアクションプログラムに反映されております。

また、技術系職員を確保するため、人事部門とも連携し、各局が分担して学校訪問など、きめ細かく行っております。

さらに、局横断的に技術情報の共有化を行うなど、技術力の維持向上も図っております。

本年度の活動につきましては、六月に最終成果を取りまとめる予定でございますが、引き続き、関係各局と連携し、技術的側面から首都東京のさらなる発展に貢献してまいります。

---

○大場委員 東京都技術会議の取り組みについてはわかりました。

一方、せっかく都においてこのような取り組みを行っているわけですから、技術会議での議論も含めまして、都のさまざまな取り組みや技術情報について、都と同様に都市基盤整備やまちづくりなどについて取り組んでいるということを市区町村に伝えて支援していくことが重要だと考えております。

市区町村への技術情報の提供や支援について見解を伺います。

---

○中島企画担当部長 東京の都市基盤整備を区市町村とともに推進していくためには、区市町村職員の技術力向上も必要と考えております。このため、建設局が行う設計基礎科や、あるいは施工管理基礎科など、すべての技術研修におきまして、区市町村職員の参加も可能としておりまして、平成二十四年度は、受講者全体の約二五％が区市町村職員となっております。

また、区市町村との連絡協議会を定期的を開催いたしまして、都の技術基準の改定や現場の安全に関する取り組みなどを提供し、意見交換を行っております。

さらに、区市町村が行う総合評価方式の契約に際して技術的な助言を行いますとともに、事業の中で生じた技術的な課題に対して、土木技術支援・人材育成センターが技術支援を行っております。

今後とも、区市町村に対し、さまざまな機会をとらえて、都の技術情報の提供や支援を行ってまいります。

---

○大場委員 ご答弁で、平成二十四年度は、受講者全体の約二五％が市区町村の職員となっているというお答えでございました。ぜひとも、これはもっともっと、二五から五〇ぐらいのようなことにふやしていただければなと思っております。

なお、市区町村への技術の情報の提供と支援につきまして、積極的に行っていただくことを要望しておきます。

次に、道路整備について伺います。

私の地元である世田谷区では、国道二四六号、世田谷通り、環七通り、そして環八通りなどの幹線道路網が整備されております。しかし、それ以外の補助線などの整備はおくれしており、道路は十分とはいえない状況です。このため、生活道路が抜け道となって、通過交通の進入による生活環境の悪化や、緊急車両の入れない狭隘な道路も多く、防災上も非常に問題であります。

私はこれまで、世田谷区議会議員として、平成七年から、安全で快適なまちを実現するため、まちづくりや道路整備に取り組んでまいりました。道路整備は、住民の合意形成、用地の取得、工事と、非常に長い時間がかかる大変な事業であります。着実に進めていかなければなりません。

東京都においても、これまで道路整備に積極的に取り組まれてきたと思いますが、現在、世田谷区内で事業中の箇所はどのぐらいあるのか伺います。

---

○**佐野道路建設部長** 東京都では、事業化計画に基づきまして都市計画道路の整備を着実に進め、計画的かつ効果的な道路ネットワークの早期形成に努めております。

現在、世田谷区内で事業中の箇所は、補助第五四号線の上祖師谷二丁目付近など、合計六路線七カ所、延長約五キロメートルがございます。

---

○**大場委員** 東京都においても着実に道路整備を進めていただいていることがよくわかりましたが、世田谷の道路整備はいまだ道半ばでありまして、今後とも道路整備を進めていただきますよう、お願いをいたします。

また、世田谷区にとどまらず、日本の政治経済の中心であり、日本を牽引する東京の道路整備を今後どのように進めていくのか伺います。

---

○**佐野道路建設部長** 東京の道路は、平常時、震災時にかかわらず、首都の安全・安心を確保し、都民生活や都市活動を支える重要な社会資本でありまして、国際的な都市間競争に打ち勝ち、我が国経済を再び成長軌道に乗せるためにも、質、量ともに一層充実していくことが重要であると考えております。

このため、区部環状、多摩南北等の幹線道路や連続立体交差事業、木密地域の特定整備路線、さらには幹線道路を補完する地域の道路など、交通渋滞を解消し、経済活動を支えるとともに、高度防災都市の実現を図る道路整備を重点的に推進してまいります。

-----  
○大場委員 しっかりと進めていくということで、大変力強い答弁をいただいたと思います。

今後とも、国際競争力の強化や防災力の向上に資する道路整備や連続立体交差事業の推進に、より一層精力的に取り組んでいただくことを強く要望いたしまして、質問を終わります。